

際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や習慣、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。」

2650地区の「ロータリー百科事典」によると「国際理解、親善、平和を推進するために実施する全ての活動を言う。」とあります。これらに国際奉仕の概念の発足、発展、現状、活動実践例などが詳しく掲載されています。

3. 武生RCの国際奉仕活動について

- ①ポリオ撲滅を目的としたポリオプラスの募金運動
- ②ネパール・ジョムソンの「エコミュージアム」建設運営支援活動
- ③昭和50年から40年も続いている中華民国・中壙RCとの姉妹クラブ・友好交流事業
- ④昨年中壙RCと組んで実施した「興南中学校での心身障害者の読書環境の改善、識字教育の充実」のグローバル補助金事業
- ⑤越前市国際交流協会への参画

4. 今日は短い時間ですが、中壙RCとの39年にも及ぶ友好関係について、その発端と経過・現状、今後について語って見ます。

昭和49年、台湾資生堂社長から、武生特殊鋼材河野会員を通じて紹介された。昭和50年2月20日に田辺与平団長以下7名が訪問し、姉妹クラブ調印締結しました。

(1) 中壙RCとの交流の思い出

①「もちさん」語る



第4次（昭和59年2月11日 渡辺佳男P会長）一斗五升餅を持って行き、ぜんざいにして皆でいただきました。

② 阿里山登山（散策）

第5次（昭和61年9月24日 草桶栄治P会長）台湾の人は日本人以上に国際親善を考えていますし、私達への接待が日本とは違い考えなければなりません。



5. 今後の中壙RC訪問について

- ① 平成27年3月13日 第14次調印
- ② 3月11日17:30小松発、3月15日18:30小松着の組  
3月13日12:55関空発、3月15日18:30小松着の組
- ③ 阿里山登山（散策と言った方が適切か?）
- ④ 興南中学校訪問

報告事項

幹事報告 井上常宏幹事

- ・事務局は12月27日～1月4日休み
- ・新年会は1月20日です。

- ・地区より新会員を推薦された会員に認証品が届きました。宇野晃成会員 佐々木忠彦会員 河嶋 一会員



ニコニコ箱 …… 18,000円 累計 815,408円

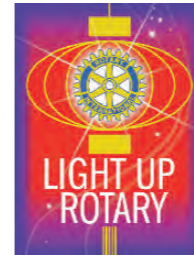
- ・卓話をさせていただきました。  
【丹南土木事務所 地域整備課長 高野政志】
- ・今年皆様ありがとうございます。 【米岡房直】
- ・今日は中壙RCとの交流記念日です。第14次調印が続けて出来る事を記念して。 【草桶栄治】
- ・早退させていただきます。 【鎌谷忠雄】
- ・「国際奉仕」についての卓話をさせていただきます。 【藤井洋造】
- ・お休みが続きごめんなさい。 【橋本幸恵】

例会変更情報/福井県内ビジター受付 (12月24日～1月6日)

12月24日	敦賀RC	休会	ビジター受付なし
12月25日	福井水仙RC	18:00～18:30	福井パレスホテル
12月25日	武生府中RC	12:00～12:30	JA越前たけふ農協会館1階
12月26日	福井あじさいRC	休会	ビジター受付なし
12月26日	福井西RC	休会	ビジター受付なし
12月29日	福井東RC	休会	ビジター受付なし
12月30日	福井フェニックスRC	休会	ビジター受付なし
12月30日	若狭RC	休会	ビジター受付なし
12月31日	敦賀RC	休会	ビジター受付なし
12月31日	福井北RC	休会	ビジター受付なし
1月 6日	若狭RC	12:00～12:30	小浜商工会議所2階

\*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日(12月23日)の例会 クリスマス家族会2014 17:30～ ベルナル	12月30日 休 会	1月6日 休 会	1月13日 第一例会行事 会長年頭所感
--	---------------	-------------	---------------------------



2014-2015 RI テーマ  
ロータリーに輝きを

創 立/1954年(昭和29年)6月30日 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館  
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp  
会 長/米岡房直 幹 事/井上常宏 会報委員長/三田村士郎



2014-2015 第2650地区テーマ  
ロータリーは  
心くぼり

第2940回 例会記録 平成26年12月16日(火)

本日出席会員37名

メークアップ(前々回) 6名

出席率(前々回補正) 78.57%

ロータリーソング「それでこそロータリー」



会長挨拶 第61代会長 米岡房直



衆議院選挙も終わり、当初言われていた通り、盛り上がり投票率も戦後最低で52.66%程でした。自公で326議席獲得し、衆院で3分の2以上を超え安定政権を確保しました。投票率が52%程しかなかったことを肝に銘じて政権運営をしていただきたいと思います。

今、国内のスーパーで店頭から姿を消している商品があります。それは、これからのクリスマスシーズンに需要が高まるバターです。この理由は、高齢化や円安による原料費の高騰により酪農家が疲弊し、それに伴い生乳生産量が減少しているからです。酪農家の戸数は、ここ10年で約1万戸も減少し、生乳生産量も、2003年度の840万トンから、2013年度は751万トンにまで落ち込んでいます。

ここで一つの疑問が残ります。数ある乳製品の中でなぜバターだけが不足するのでしょうか。生乳生産量が減少しているだけなら、他の乳製品も品不足になるはずですが、たまた品不足になったとしても、通常の食品であれば、足りなければ民間の事業者が輸入すれば済みます。しかし、バターの輸入については農林水産省所管の「農畜産業振興機構」が独占して行っていますので、そうはいかないのです。

日本では国産バターを保護するために、輸入バターには特殊な関税割当制度が適用されています。1次税率(関税35%)に加えて、2次税率(1kg当たり関税29.8%+179円)もの高率の税金がかかるのです。更に、輸入業者はバター輸入を独占している農畜産

業振興機構に1kg当たり806円のマークアップ(上納金)を納める必要があります。この結果、国際価格500円のバターを1kg輸入した場合、3倍以上の1,634円にも跳ね上がってしまうのです。ちなみに、アメリカではバターが日本の約3分の1の価格で買えるそうです。

上記のような形で、国内の酪農家を保護していくのは必要なことかもしれませんが、2次税率やマークアップは必要以上の措置に思います。また、バターはTPPで農水省が独占する国家貿易品目であり、「聖域品目」とされています。TPPで農水省が恐れているのは国内農業の崩壊ではなく、貿易の自由化によって「農業保護」を名目に享受してきた輸入独占権を失うことにあると思います。円安や消費税の増税で物価が上昇している昨今、こういった利権によって、不当に価格が吊り上げられることは避けてほしいです。

プログラム

「国際奉仕について

姉妹クラブ締結記念例会に因んで」

国際奉仕委員会 藤井洋造委員長

1. 本日卓話をさせて頂く意味  
中壙RCとの姉妹クラブ締結時に双方が長い友好を続けるために、取り決めを結びました。毎年12月最終例会は、姉妹クラブ締結記念例会とすることになっています。そういった流れで、「国際奉仕委員会」が例会アワーを担当させていただきます。私が入会した頃は、昼食は中華料理、紹興酒をひと口いただいたものです。

2. 国際奉仕委員会の担当分野について

武生RC定款に、RCが掲げる奉仕活動の5大奉仕部門(クラブ・職業・社会・国際・青少年)はRC活動の哲学的及び実践的な規準であると規定されています。今日はその中のひとつである非常に幅広い「国際奉仕」について整理してみました。

定款の中に規定されている事を読んでみますと「国

